

# 平成 31 年 3 月 予算特別委員会総括質疑

平成 31 年 3 月 15 日

1. 行政情報化推進事業費について
2. 電子計算関係事業費について
3. 乳幼児等・こども医療費助成制度について
4. 北部保健福祉センター維持管理事業費について
5. 尼崎市文化振興財団補助金等について

維新の会の久保高章でございます。

## 1. 行政情報化推進事業費について

1-① 行政情報化推進事業費のRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）について伺ってまいります。昨年6月議会及び9月議会にて提案させて頂き、まれに見る速さで早速31年度予算に計上頂いたことに感謝いたします。今回の2億6900万の予算の内訳を教えてくださいのと、実質RPAのみに掛かった費用を教えてください。

1-② 費用は300万円という事ですがこれによる効果額、或いは効果時間はいくらぐらいになると試算されていますか。

1-③ 約1800時間削減できるという事で時給4,000円としても費用300万円の投資で約700万円以上の効果額があり、又、ワークライフバランスや働き方改革の一助になることが分かりました。では、今回の導入は役所全体の定型的で繰り返しの多い作業の何%ぐらいに当たりますか。

1-④ では今後、残りの195課の内RPA適応可能性のある業務にも積極的に導入頂けることはお約束頂けるという事でよろしいでしょうか。

1-⑤ 行革に絡んで最後に一点お聞き致します。今回のRPAや業務プロセス分析と並行して昨年9月議会にて自治体間ベンチマーキングを提案させて頂き今回の予算に何らかの形で予算計上されているかと期待しましたが、自治体間ベンチマーキングについては何が壁になって一歩踏み出せないのでしょうか。

1-完 財源捻出の為効率的に業務が行えるように新たな行革にもチャレンジを進めて頂きたいと思えます。

## 2. 電子計算関係事業費について

2-① 次に電子計算関係事業費についてお伺い致します。平成25年9月議会にて稲村市長より当時の日本ユニシスの汎用システムから全てのシステムをオープンシステムに変更し

ていきたいと答弁頂き、平成 26 年の 6 月議会にて平成 29 年度から平成 32 年度の間で実施すると伺いましたが、現在の進捗状況と問題等は無いか教えてください。

2-② 当時、イニシャルが 20 億～40 億円と言われていましたが、結局いくらになりそうですか。

2-③ 平成 26 年以前に比べオープン化することによる効果額は、当時の試算では年間 4 億円と言われていましたがどの程度見込まれますか。

2-④ それでは、先ほどの初期経費消費税抜きの 21 億円を 10 年間ほどの延払いを終えれば、その後、平成 43 年（2031 年）からは純粋に毎年 4 億円の効果が出てくるという解釈でいいですか。

この様に毎年の効果額、今回なら 21 億円の投資に対し 4 億円、約 19%のリターンです。結果 10 年で償却したととらえ、その後は、真水の歳入となる、このような投資を今後も行って頂きたいと思います。宜しくお願い致します。

2-⑤ 加えて、今後はオープン化することにより例えば、毎年の法改正などに対応するため本市独自のカスタマイズではなく、同規模自治体や他の自治体とのシステム（ベンダーからのパッケージ）の共有化によるコストダウンは図られていますか。

2-完 なるべく本市独自のカスタマイズではなく他市との共有によるパッケージ仕様を行い効率的にコスト削減を今後も要望します。こう言ったことも自治体間ベンチマーキングで共有できるのではないかと思いますので、宜しくお願い致します。

### 3. 乳幼児等・こども医療費助成制度について

3-① 次に、乳幼児等・こども医療費助成についてお伺い致します。昨年 6 月議会にてこの制度は福祉的観点か子育て施策的観点かをお尋ねし、近年は子育て施策的観点も強くなっており全国的に取り組まれていると答弁され、今回、平成 25 年度以来 6 年ぶりによくわづかですが乳幼児医療の未就学児に対して医療費助成の拡充が行われたこと、一步前進して頂いたことに感謝したいと思います。しかし、現状の他都市との格差及び隔たりはまだまだであると思っておりますが如何お考えでしょうか。

3-② 研究、検討はここ何年も行われすでに熟知されていて当然だと思うのですが、最終的にどこまで拡充される目標を持たれているのか、その為のハードルはありますがここまではやりたいという決意をお聞かせ下さい。

3-③ 現在、この施策は福祉的観点から政策的観点が強くなってきたとご答弁頂いています。では、この子ども医療費助成の拡充を行う事により子育て世代の定住、転入にどれほど影響があるとお考えでしょうか。

本来なら先ずは、他都市と同等の中学3年生まで無償化すべきです。そして、初めて同じラインに立ちますが、何か本当にまだまだ不完全燃焼を感じます。

3-④ 今、明確な効果はあまり分からないと答弁されました。では、俯瞰して考え、逆の発想で政策的観点からするともうすでに他市が十分な拡充をされている施策の後追いでこの施策をされるより、これ、財源が潤沢にあるなら別ですが、財源が無い中では他都市との差別化、目玉的施策に投資するのも一つではないかと思えます。例えば、守口市だけが実施している0~2歳の保育料無償等を掲げ、それに向けてのハード、ソフトの整備を行い、他市と明確に違う施策等に投資するお考えはないでしょうか。

3-⑤ 守口市や明石市においては0~4歳の人口は減少から増加へとV字回復しています。結果、子育て世代の定住、転入の増加に明確につながっています。このように誰もが分かりやすい「見える化」された他都市との差別化についてはどのように取り組むプランがあるのでしょうか。

3-完 今後、政策実現の為、誰でもが他都市と明確に違う「見える化」された施策に少ない財源の集中投資を行って頂くようお願い致します。

#### **4. 北部保健福祉センター維持管理事業費について**

4-① 北部保健福祉センター維持管理事業費についてお伺い致します。このセンターは平成29年11月20日に竣工され昨年1月4日から供用が開始されました。現在、本市の保健、福祉の拠点として非常に重要な役割を果たしています。このセンターの持続可能性は確保されていると思いますが、賃貸借契約内容と相手方を教えてください。

4-①-1 この契約は定期賃貸借契約であり次の契約更新は保証されていないでいいですか。

4-①' 「特段の理由がない限り再契約が通例」では、特段の理由とは何か。貸主都合の理由ではないのでしょうか

4-①-2 通常の賃貸借契約の場合、貸主都合で退室を求められませんが、この契約の場合契約期限が来れば何の保証もなく契約の打ち切りがあるということですね。

4-①-3 では、なぜ一般的な契約ではなくこのような定期賃貸借契約を結ぶのでしょうか。

4-② では、工事請負費用と減価償却に係る取得価格を教えてください。

4-③ では、その取得価格の年間減価償却費と、全ての償却が終了するのに何年かかりますか。

4-④ では、この1番館と建て替えられている3番館の築年数を教えてください。

4-④ 平成27年12月議会にて民間からの賃借と自前施設の持続可能性についてかなり突っ込んで提言させて頂きました。現、北部保健福祉センターへの投資懸念として、築年数（建物の老朽化）、永久に賃料の発生（現在年間約8,326万円）、10年で契約が終了（リセットされ再契約となる）、継続契約の保障なしです。「このような不安定な場所に投資し10年後契約更新されますか。」とお聞きした際、「その保証は無いです。」では、「仮に解体の為、継続契約しない可能性が有るということですか。」の質問に「あります。」「では、その時どうされますか。」に対し、「そういうことがないよう努力しますが、仮にそうなればその時考えます。」と言われたことが非常に気になり今回、確認させて頂いています。すでに10年の契約ですが実際の残期間はもう7年半しかありません。次の10年の契約更新の継続の担保は取られましたか。

4-⑤ 市民サービスの持続可能性の中、相手頼みで時期が来てから交渉するでは手遅れの可能性が有ります。又、民間ですので今の所有者イオン（ダイエー）さんが変わる可能性が有ると思いますが如何でしょうか。

4-⑥ 先ほど、減価償却の話をしてしましたが、10年で契約を打ち切られると簿価上の償却損はいくらになりますか。

4-⑦ では、今後そういった不測の事態を招かない為、また、持続可能性を確保する為、いつまでにどういった契約を結ぶお考えでしょうか。

4-⑧ 未だに、こういった無計画で不安定な綱渡りの中で行政運営されている事についてトップである市長はどの様にお考えでしょうか。

4-完 いずれにしてもこのセンターの持続可能性は非常に不安定な状況にありこの課題を克服すると共に、本市としてこの施設をいつまで使用すると言う明確な計画のもと、所有者との交渉、契約という持続可能性を確保する事項を31年度中に明確にして頂く事をお願いしたいと思います。又、確認致します。宜しくお願い致します。

## 5. 尼崎市文化振興財団補助金について

5-① 尼崎市文化振興財団補助金（以下、総文）についてお伺い致します。この施設についての課題は数年前より水面下にてお話はさせて頂きました。現在も尼崎市の文化の核として今後はお城と共に本市にとって非常に重要な施設として質問させて頂きます。31年度予算において2億87,988千円の補助金並びに建物の登記は財団ですが実質は市の建物と土地の貸付料約1億円を二分の一減免ではなく無償とするなど多額の補助を行いこの施設にかかる市の思いは非常に感じています。ここでは、代表質疑の深堀をさせて頂きます。代表質疑においてはPPP手法導入に向けたサウンディング型市場調査の結果と今後のスケジュール並びに未耐震の危険性について伺いました。PPP手法導入での検討に至った経緯を教えてください。

5-② 総文は、文化ビジョンで本市の文化振興の中核と位置付けていますが、では、この総文のソフト、ハード面の役割分担として財団と市の役割分掌を教えてください。

5-③ 代表質疑で、市と財団が協議調整を図りながら総文の施設整備の方向性について来年度を目途に検討されると答弁されていますが、文化棟、ホール棟の建て替え、改修、耐震化の費用は試算されていますか。

あえて明確な金額答えられていませんが、一般的に文化棟で㎡ 30 万で約 30 億円、ホール棟で㎡ 70 万で約 70 億円はかかります。

5-④ いずれにせよ、莫大な費用が必要ですが財団にそれらの費用負担は可能でしょうか。

5-⑤ という事は、その費用は全て市の負担となりますが、本来持続可能性のもと一般的には改修積立金、或いは建て替え積立金としての基金はされていると思いますが減価償却に伴いいくら積み立てられていますか。

これ毎年決算で減価償却として 2 億 2000 万の資産減を見込まれていますがなぜこれを積み立てていない。

5-⑥ 文化振興の核と言いながらその持続性はどうか考えてこの 45 年間経過してこられたのか。いつもこの様な課題を常に先送りされているように思います。如何でしょうか。

5-⑦ 文化振興の核と理念は素晴らしいですが、実効性に欠けており問題が起こったところの対応に奔走しています。この総文の施設自体、待ったなしの状態ですが、予算がないので廃止もあるのか。或いは、本庁舎のようにこれから着手金を積み立てるのでしょうか。

5-⑧ ここで、市長にお伺い致します。この施設、文化振興の核として継続するのであれば今後の明確な計画を出す必要があります。安心、安全を謳い、いつ南海トラフ地震が来るか分からない中、市主導のもといつ、誰が、いつまでに何をどのように行うお考えでしょうか。本来その判断時期はすでに過ぎていると思われる中、如何でしょうか。

5-完 非常に難しい判断だと思いますが、結果を先送りしても同じではないでしょうか。非常に大きな危険性をはらんでいますので、早期の判断を宜しくお願い致します。

以上で維新の会の総括質疑を終わらせていただきますが、今回指摘した問題、要望については是非とも施策に反映していただきたいと思います。

代表質疑、分科会、そして総括質疑でいただいた答弁を踏まえまして意見表明、そして採決に望んでまいります。御清聴どうもありがとうございました。